

A0192 ED75-707/711・オリентサルーン 重連セット

予価:12,400円(税別)

JANコード:102831 カートン内入数:24

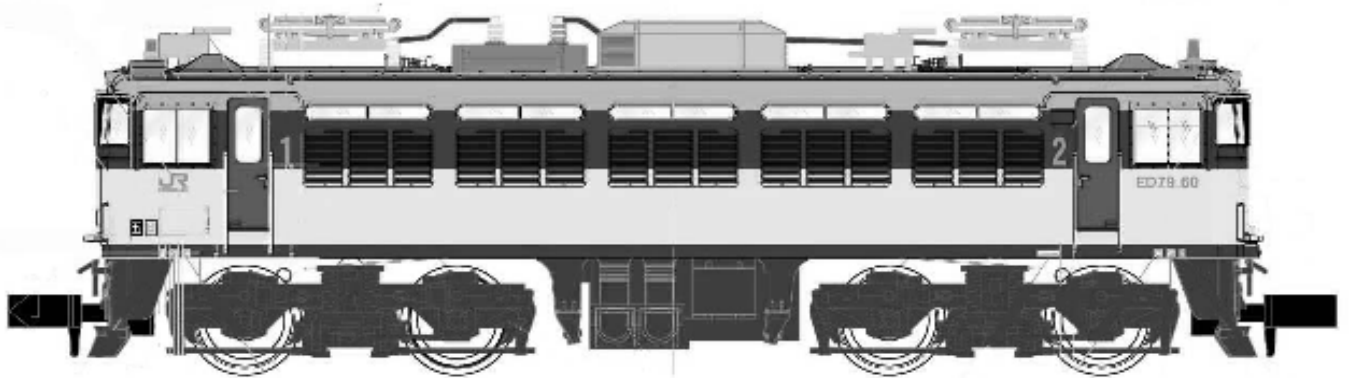
A0194 ED79-57/60・2次型登場時 重連セット

予価:12,400円(税別)

JANコード:102855 カートン内入数:24



商品形態	Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:8歳以上 2両サック箱入り)	
A0192	<p>ED75は交流電気機関車の標準形として1963年に登場した試作1,2号機から10数年にわたって総数302両が製造されており、基本形と高速仕様の1000番台、奥羽本線用に塩害対策を強化した700番台、鹿児島本線用に60Hz仕様とした300番台、函館本線用の試作機501号機など、北海道から九州まで全国各地で活躍した交流電気機関車の代表形式です。現在ほとんどが東北本線・常磐線で運用されていますが、老朽化や後継車両の登場によって淘汰が進んでいます。</p> <p>1987年に登場したジョイフルトレイン「オリентサルーン」専用牽引機として、707号機と711号機が客車に合わせた塗装に変更されましたが、707号機は1996年10月28日に、711号機は1997年2月11日に廃車され、その座を751・766・767号機に譲りました。その後「オリентサルーン」自体も2000年に廃車されました。</p>	
商品説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロエース電気機関車シリーズの更なる充実。</li> <li>・2005年4月発売のED75を元にした新バリエーション製品。</li> <li>・従来品(0番台、1000番台)とは屋根上や前面のディテールが異なる700番台を新規製作。</li> <li>・かつて人気を博したオリентサルーン専用塗装車を2両セット。2両ともモーター入り。</li> <li>・えんじ色ボディに金色帯。</li> <li>・ナンバーの色違いを再現。ED75-707:銀色、ED75-711:白色</li> <li>・屋根上配管は、配管を銅色、碍子を白色に塗り分け。</li> <li>・ヘッドライト点灯。ON-OFFスイッチ付き。</li> </ul>	
付属品	ヘッドマーク1枚	
JR東日本商品化承認済		



商品形態	Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:8歳以上 2両サック箱入り)	
A0194	<p>ED79-50番台は、津軽海峡線のコンテナ列車増発に伴う輸送力増強用として1989年から1990年にかけて10両製造されました。従来から活躍している0・100番台が改造で誕生したことに對して、50番台は新製されました。ひさしの取り付け、前面形状の変更、ATC装置の改良により運転方向限定の解消など、従来機と比較し一部マイナーチェンジが施されています。2000年に56号機が事故廃車となりました。</p> <p>57号機は1989年10月10日製造、60号機は1990年2月24日製造で、JR貨物五稜郭機関区に所属しています。2次型にあたる57～60号機は、登場当初車体裾部が青色になっていました。</p>	
商品説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロエース電気機関車シリーズの更なる充実。</li> <li>・2002年5月発売のED79-53/59を元に、2次型の特徴であった車体裾の青帯を再現。</li> <li>・重量貨物列車の牽引に最適な重連セット。2両ともモーター入り。</li> <li>・前面解放テコ部品を新たに取り付け。</li> <li>・屋根上配管は、配管を銅色、碍子を白色に塗り分け。</li> <li>・区名札、全検表記、エンド表記、メーカーズプレート、JRマーク、ATS・ATC表記など車体印刷を更に充実。</li> <li>・ヘッドライト点灯。ON-OFFスイッチ付き。</li> </ul>	
商品化許諾 日本貨物鉄道株式会社		